

まちの話題

ふれあい手話教室 手話って ななに？

8月21日、しあわせ体感！福祉のまちづくり推進事業「ふれあい手話教室」(神崎市社会福祉協議会主催)が行われました。

小学生から年配の方まで約40人が参加。手話で「桃太郎」の絵本の読み語り、聴覚障害者が使用する生活道具の紹介、手話講習会などが行われました。

実際に聴覚障害者と触れ合ったり、指文字や自分の名前、手話でゲゲの鬼太郎の歌を歌ったり、楽しく手話を学びました。当日は、夏休みとあつて、子どもたちの参加が目立ちました。社会福祉協議会では、今年度から地域住民の誰もが住みなれた地域や家庭で自立し、互いに



助け合いながら心豊かに暮らすことができる地域社会の実現を目指し、地域住民団体などと連携した「しあわせ体感！福祉のまちづくり推進事業」が実施されています。

10月19日には、宅老ちよだひまわりの会による講演会が、千代田町福祉センターで、11月29日には、脊振学園による記念講演と「Yミュージックアンサンブルコンサート」が、神崎市中央公民館で予定されています。

◎問い合わせ先

神崎市社会福祉協議会

☎59-2227

宅老ちよだひまわりの会

☎44-6454

脊振学園

☎59-2155

神崎・吉野ケ里DAY

神崎市の情報発信と市民の「サガン鳥栖」応援の機運を高めることを目的に、8月10日、



いつまでもお元気で

9月10日、神崎幼稚園の年中児(24人)が、敬老の日を前に介護老人施設「うぶすな」を訪れました。

園児たちは、歌を歌ったり、柔軟体操をしたり、日ごろの園での生活を発表し、お年寄りたちと触れ合いました。

子どもたちと一緒にボール送りゲームをしている時のおじいさん、おばあさんは、ニコニコ顔でとっても楽しそうでした。



「弥生人の声が聞こえる神崎・吉野ケ里DAY」(神崎市・吉野ケ里町・吉野ケ里公園の協賛)と称し、サガン鳥栖のホームゲーム(対FC岐阜戦)が行われ、6,000人を超える観客が詰め掛けました。

会場入口のPRブースでは、神崎市内の物産販売、観光パンフレットの配布などを行いました。

試合は、後半に何度も得点のチャンスがありましたが、惜しくも決められず、0対0の引き分けに終わりました。しかし、まだ十分にJ1昇格を狙える位置をキープしていますので、今後の試合結果が注目されます。

ボランティアで

環境美化・清掃活動

8月9日、神崎市内の建設業者らでつくる建友会(糸山信善会長)のメンバー50人が、神崎町の日の隈公園の日の尺池周辺や南側からの登山道沿線の草刈清掃をされました。

会では、これまでに千代田町の国道264号、県道佐賀八女の沿線や脊振町の城原川内や沿線などで清掃活動が行われており、今回で4回目。

炎天下の中、草刈機械を背負い、作業着姿のメンバーらが大粒の汗をかきつつ精を出され、公園周辺は、これまでにない環境美化が図られました。

暑い中、本当にご苦労様でした。ありがとうございます。



自然の豊かさを感じて

8月8日、9日、郷土と自然に親しむ会主催の市内の小学生を対象とした夏休みイベントが、脊振山麓習遊館で行われ、神崎町と千代田町の小学生や会のメンバーら55人が参加しました。

子どもたちは、習遊館近くの川に入り、カニやヤゴを捕まえたり、水辺に生える香草「クレソン」を採ったりしました。

このイベントは、「水遊びなどを通して、自然の豊かさを感じてほしい」と願う千代田町在住の有志でつくる郷土と自然に親しむ会が、千代田町の小学生を対象として毎年企画していましたが、今年は、市全体に呼びかけて行われました。



球技大会が開催

8月24日、佐賀県子ども会連合会主催の球技大会が、佐賀市大和中央公園競技場で行われました。

神崎市からは、8月10日に行



▲鳥羽院子どもクラブ（脊振町）

われた神崎市球技大会（神崎市子どもクラブ連絡協議会主催）のキックベースボールの部で優勝した鳥羽院子どもクラブ（脊振町）とミニバレーボールの部で優勝した子どもクラブ（神崎町）が出場し、元気なプレーで健闘しました。



▲的子どもクラブ（神崎町）

郷土の絵本ができました

神崎ライオンズクラブが、40周年を記念して、神崎の郷土を扱った創作絵本「おもやいどがしこでん」（出門堂）を出版されました。

絵と文は、千代田町出身の画家こがえつこ（古賀悦子）さん。絵本は、なんでもかんでも独り占めにするカエルの姿をした怪物「どがしこでん」が、神崎のクスノキとお話ししたり水車

のかげらを集めたり、ヒシの実と一緒に踊ったりすることで、「おもやい」の心を取り戻すという内容になっています。

この本は、市内の小学校や幼稚園、保育園、神崎市中央公民館などに寄贈されています。

親子で読んでみてください。



脊振中の国際交流

8月25日から29日まで、異国文化の生活習慣などを体験し、生活文化の違いなど国際的視野を広め、国際社会に対応できる人材育成などを図ることを目的に、脊振中学校生徒6人、随行者3人が、中国の山西大学附属中学校を訪問しました。

現地では、記念品の交換や、書道、踊りなど文化交流などを行い、生徒たちは親睦を深めました。また、附属中学校生徒の自宅を訪ね、生活様式の違いに触れるなど、文化の違いを改めて実感しながら多くの発見と感動を体験しました。

両校の交流は、平成元年に姉妹校締結を行ったことから始まり、毎年お互いの中学校を歩き来しています。



手作りのプレゼント

小川タマエさん（神崎町）が西郷小学校の子どもたちに手作りのメッセージ入りのお守り、雑巾、掛け軸をプレゼントされました。

小川さんは、お孫さんの学校行事に参加したことをきっかけに、子どもたちの健やかな成長を願い、自分の得意な裁縫技術を生かしたいと、毎年、プレゼントされています。

子どもたちは喜んで、お守り

をかばんにつけたり、新品の雑巾を大切にマイ雑巾として机用に使ったりしています。



▲「子どもたちの喜ぶ顔を見て元気もらっています」と笑顔で応える小川さん。

青少年だより

神埼市青少年育成市民会議

地域に広がる「あいさつ・声かけ運動」 第3回 地区子育て懇談会

神埼市青少年育成市民会議では、第3回地区子育て懇談会を7月9日から11日まで行いました。

地区役員、市民会議役員、学校、地区の皆さんのご協力をいただき、熱心な話し合いがなされて、有意義な懇談会をすることができました。

今回の懇談会では、次の4つの柱で話し合いをしました。

- 柱1 地区の重点実践目標の反省と今年度の重点実践目標の決定
- 柱2 『神埼市子ども安全安心まちづくりアピール宣言』に基づく取り組み
- 柱3 ラジオ体操・地区活動の活性化
- 柱4 小・中学校からの報告



▲岩田地区の懇談会の様子

1 地区の重点実践目標の反省

- あいさつ・声かけ運動
 - ・小・中学生のあいさつは、子どもたちから元気なあいさつができていて、とても気持ちがいい。
 - ・登校時のあいさつは元気がいいが、下校時はあまりよくない。
 - ・大人があいさつをすると、子どもからも返ってくる。
 - ・子どもたちのあいさつはいいが、大人のあいさつがよくない。

- ・子どもたちのあいさつは元気がなく、子どもからは少ない
- ・顔見知りの人にはよくあいさつをする。
- ・あいさつをすることで顔見知りになり、子どものあいさつが増えた。
- ・あいさつ・声かけ運動は子どもの方が積極的。もっと大人から声をかけよう。
- ・小学生がよくあいさつをしている。
- ・中学生、特に部活動の子どもがのあいさつが元気で気持ちいい。
- ・子どもが少なく、会う機会がない。
- ・大人からの声かけが少ない。もっと声をかけて顔見知りになろう。
- ・地区内のあいさつはよくできている。
- ・家庭内でのあいさつができていない。あいさつは家庭からしつけよう。
- ノーテレビデーの実施
 - ・ほとんど実施できていない。
 - ・食事中はテレビを消すことはできていない。
 - ・ノーテレビデーは大人が難しい。
 - ・ノーテレビデーは年寄りがい

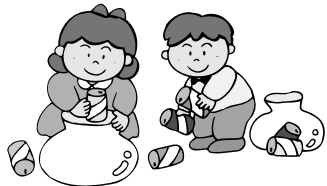
2 今年度の地区の重点実践目標

- あいさつ・声かけ運動 (96 地区)
- ノーテレビデーの実施 (16 地区)
- 見守り隊の取り組み (8 地区)
- 交通安全、交通ルールを守る (3 地区)
- 子どもの安全を守る (3 地区)
- 子どもとのふれあいを持つ (4 地区)
- 地域の環境美化、ゴミ・ノーポイ運動 (5 地区)
- 一戸一灯運動 (3 地区)
- 地域の行事に積極的に参加させる (6 地区)
- 早寝、早起き、朝ごはん (1 地区)
- 親子のふれあいの時間を持つ (2 地区)
- 花いっぱい運動 (2 地区)
- 帰宅時間を守る (1 地区)
- 基本的な生活習慣を身に付けさせる (1 地区)

- る家は難しい。
- ・ノーテレビデーは意識付けにはなっている。
- ・テレビだけでなく、ゲームのし過ぎが心配だ。
- 地域の安全を守る方策
 - ・徐行運転の実行は地区内ではよくできた。通行する人への注意の看板設置が必要。
 - ・一戸一灯運動はよく心がけている。
 - ・一戸一灯運動は徹底できなかったので、継続して行う。
 - ・地区の安全点検、危険箇所の整備を行った。
 - ・城原川の草刈をした。
 - ・落下防止のために橋の手すりを増やした。
- 基本的な生活習慣
 - ・各家庭でしっかりと取り組んでいる。
 - ・見守り隊の結成と実行で子どもたちの安全が守れた。
 - 町や地区の行事への積極的参加
 - ・地域行事に子どもたちが多く参加してくれた。
 - ・クリーン作戦に子どもたちは意欲的に参加した。
 - 親子花いっぱい運動、地域と子どもとのふれあい運動
 - ・小学生がほとんどだった。子どもたちと地域の人との交流ができた。
 - ・地区のみんなで花壇作りに取り組んだ。

地区子育て懇談会の出席率ベスト20

順番	地区名	出席率 (人数/戸数, %)
1	曾根ヶ里	136.8
2	野寄	116.7
3	戸井土	112.5
4	伏部	85.7
4	三谷	85.7
5	藤東	83.3
6	野田	81.3
7	林慶	73.1
8	大門	67.9
9	小鹿	65.0
10	猪面	64.5
11	中津	63.0
12	柴尾	62.9
13	上六丁	62.5
14	龍尾	61.9
15	上地	60.0
16	馬郡	56.8
17	大石	54.5
18	上黒井	54.2
19	下板	52.8
20	仁戸田	52.6



- ・ごみ資源収集を親子一体となつて実施し、有効活用を努めると共に、物の大切さを体験させる。
- ・ボランティア活動などに積極的に参加させ、地域で育てていく。
- ・地域コミュニケーションで子どもたちの利用できる活動を考える。
- ・ポランティア活動などに積極的に参加させ、地域で育てていく。
- ・ごみ資源収集を親子一体となつて実施し、有効活用を努めると共に、物の大切さを体験させる。

- ・地区の役員が集まつて事前に協議をし、話し合いがよく進んだ。
 - ・子どもクラブの役員さんに呼びかけてもらつて参加者が増やした。
 - ・出来るだけで多くの人に意見を出してもらうように指名をして、発言を促した。
- △課題
- ・小中学生の保護者の参加が少ない。積極的に参加してほしい。
 - ・懇談会の内容が形式化・マンネリ化している。
 - ・子どもを参加させて、顔見知りになつたり、保護者の出席を増やしたりできないか。
 - ・保護者だけでなく、地区のみんなが参加するようにしたい。
 - ・会の進め方が理解されていない。

3 『神崎市子ども安全安心 まちづくりアピール宣言』に基づく取り組み

子どもたちの安全のために、各地区で次のようなしつかりとした取り組みがなされています。

遊具の点検、一戸一灯運動、見守り隊の編成と活動、インターネットや携帯電話の犯罪に巻き込まれない指導、危険箇所の点検、不審者の情報、子どもの携帯電話の所持禁止、防犯ブザーの携帯、帰宅時間の厳守、自転車の乗り方指導、ヘルメットの着用、子ども110番の家の増設、あいさつ・声かけ運動など

4 子どもたちの様子・地域活動の活性化

○ラジオ体操

- ・期間限定、土日・お盆は休む地区がほとんど
- ・もう少し増やしてはどうか
- ・大人も多く参加してほしい。
- ・小学生だけでは体操になつていない。親も参加しよう。
- ・中学生はほとんど参加していない。
- ・中学生もきちんと参加している。
- ・老人クラブと子どもクラブで一緒にやっている。



- ・子どもと親だけでなく、地域ぐるみでできないか。
- ・三地区合同で行っている。
- ・上級生が前に出て手本となつてくれるので、よくできている。
- 子どもクラブの活動
- ・それぞれの地区で子どもたちのために伝統行事や楽しい活動などが工夫され、地域の皆さんのおかげで、素直で優しい子どもたちが育っている。
- 地域活動の活性化
- ・子ども主体の活動にしていこう。
- ・子どもクラブと老人クラブの交流
- ・ラジオ体操の大人の参加で地域の活性化



◎地区子育て懇談会を終えて

(市民会議員、地区育成推進員へのアンケートから)

○成果が表われた点

- ・あいさつ・声かけ運動が浸透してきた。
- ・事前に自作のチラシを配つたり、独自の資料を用意したり、熱心に取り組んで参加者が増えた。

神埼市の将来について語るく中学生サミット会議

8月19日、神埼市青少年育成市民会議では、「神埼市中学生サミット会議」を神埼市役所で行いました。

今回は、各中学校の生徒会役員代表15人が、市長を囲んで神埼市の将来について語り合いました。

また、次の2つの柱については、各学校の取り組みや意見を発表しました。

(1)環境問題について、中学生として活動していること。

- ・ 節電節水
- ・ アルミ缶回収
- ・ 拭き掃除にバケツの水を使う。
- ・ ごみを減らす。
- ・ 割り箸を使わない運動
- ・ 川を汚さない。



(2)いじめのない学校にするために生徒全員が取り組んでいること。

- ・ 言葉遣いに気をつける。
- ・ 人のいい所をみつける。
- ・ 陰口、悪口を言わない。
- ・ スローガンを決めて意識付けさせる。
- ・ 人の意見をきちんと聞く。
- ・ ビデオなどを見て考える。
- ・ あいさつをする。
- ・ 気配りをする。

市長との話し合いの場ということで、市長に対し、中学生からの率直な疑問や意見が出されました。市長からは、中学生に分かりやすい丁寧な説明がありました。

(3)市長にこんなことを聞きたい。

- ・ 中学生の時にがんばればよかったこと：読書をしてあげばよかった。
- ・ 市長になるうというきっかけ
- ・ 市民の幸せを実現する市政をやりたいかった。
- ・ 中学生に期待すること：素直な人。神埼市のためになる人。
- ・ 町村合併でよかったこと：大きなもの、良いものを作れる。

その他、今後の神埼市について、城原川ダムについてなどの質問が出されました。

(3)市長からのメッセージ

「日々、努力する人であってほしい。」

市長と直に話し合いができて、中学生の皆さんにとって、貴重な経験となりました。

青少年健全育成講演会

青少年の健全育成のため、家庭や地域の教育力の重要性を再認識し、みんなで助け合い協力し合って、元気でたくましく心優しい子どもたちを育てましょう。



小・中学生の保護者の皆さん、市民の皆さん、お出かけください!!

○とき 10月19日(日)

○午前10時から正午まで

○ところ 神埼市中央公民館

○演題 「自分を大切にする」

○講師 佐賀市 円光寺住職

五十嵐 雄道 さん

「自分さえよければいい」と

「自分を大切にすると」とはどう

違うのでしょうか。一緒に考えて

てみましょう。

*入場料は、無料です。

*駐車場は中央公民館・保健センター・JA会館・神埼総合

庁舎、神埼中学校の駐車場を

ご利用ください。

◎問い合わせ先

神埼市青少年育成市民会議

(教育委員会 社会教育課内)

☎ 44-2731

小学校教科用図書採択結果

神埼市教育委員会では、平成21年度から使用する教科用図書を次のように採択決定しました。

国語科(光村教育図書)

書写(東京書籍)

社会科(光村教育図書)

地図帳(帝国書院)

算数科(啓林館)

理科(大日本図書)

生活科(東京書籍)

音楽科(教育出版)

図画工作科(日本文教出版)

家庭科(開隆堂)

保健体育(東京書籍)

今回採択の教科用図書は、小

学校で、平成21・22年度に使用

することになります。

◎問い合わせ先

神埼市教育委員会 学校教育課

☎ 44-2384



中学生の熱い戦い 九州大会・全国大会

7月の県中学校総合体育大会を勝ち抜き、多くの市内中学生が8月に行われた九州大会・全国大会で活躍しました。



全国大会結果			(敬称略)
種目	出場チーム・個人		結果
剣道	神埼中女子		準優勝
体操	神埼中男子	池尻俊弥	個人総合2位、種目別(ゆか1位、跳馬2位)
陸上	神埼中女子	八谷美里	走幅跳予選29位

九州大会結果 (敬称略)

種目	出場チーム・個人		結果
ハンドボール	神埼中男子		2回戦敗退
	神埼中女子		1回戦敗退
バレーボール	千代田中女子		予選リーグ敗退
剣道	神埼中女子		決勝トーナメント1回戦敗退
	千代田中女子		予選リーグ敗退
	神埼中男子	井手一希	3位
	神埼中女子		2回戦敗退
	神埼中女子		1回戦敗退
体操	神埼中男子		個人総合1位、種目別(鉄棒1位、ゆか1位、跳馬1位)
			団体 優勝
新体操	神埼中男子		個人総合1位、種目別(スティック2位、リング2位)
	島ノ江翔太		個人総合1位、種目別(スティック1位、リング3位)
新体操	神埼中女子		団体 8位
陸上	神埼中女子		八谷美里 走幅跳8位
	神埼中女子		金山真子 走高跳9位



▲全国大会で準優勝の神埼中女子



▲全国個人総合2位の池尻俊弥さん



「戦争はどこからくるの」という子どもたちの問いに「欲をました。」

「平和ってなんだろう?」

西郷小・仁比山小

戦後60年が過ぎ、日本では戦争の記憶は薄れつつあります。しかし、今も戦火が絶えることはなく、平和とはいえない世界に生きる子どもたちがいます。今回は、子どもたちに、戦争について知ってもらうため、築山正行さん(神埼町)を講師に迎え、戦争の体験談をお聞きしました。



子どもの放課後体験活動
笑顔いっぱい
「ドリームパーク」

有料広告

国産無着色畳表推奨店

成富たたみ店

神崎市神埼町鶴1142-1
TEL 0952-52-2622

薄畳・和紙畳・いぐさラグなども
たたみ工房にて展示中!



出すことが戦争につながる。お互いに少しずつ我慢をすることが大切」という築山さんのメッセージは、強く子どもたちの心に残ったことでしょうか。

また、地雷のレプリカから、今も世界中に埋められている地雷の恐ろしさについて考えました。

その後、地元神埼町の「平和の旅へ合唱団」のみなさんと一緒に、世界中から争いがなくなり、平和な世界になるようにとの願いを込めて、平和の歌を歌いました。